

【第39節】岐阜 2-0 千葉

●Jの監督には大きく分けて、戦術において現実主義者（リアリスト）と理想主義者（ロマンチスト）に分けられる。そして岐阜の大木監督は“スモールスペース”を掲げ、千葉のエスナイデル監督は“ハイプレス・ハイライン”を掲げるロマン派。そして、そのロマン派同士の対戦は、岐阜の2勝1敗と分がいい。ここ2試合の岐阜は“大木サッカー”を封じて、現実主義とも思える路線で勝利&引き分けという結果を出しているんだけど、さて、この千葉戦ではロマン派に回帰するのか、それとも現実主義で行くのか…。

結論から言えば、あくまでも自分の理想にこだわった千葉のエスナイデル監督に対し、大木監督は現実主義を貫いたのだと思う。前節に引き続き、左SBに#5青木翼を、CBに#34北谷史孝を置き、後方からのビルドアップを減らして守備の安定を優先させる岐阜。試合序盤から千葉の攻撃に苦しむ時間が続いたけれど、前節の松本戦で、無失点に押さえたという自信をつけた岐阜のDF陣が、身体を張って粘り強くボールを跳ね返す。そして前半35分、前線左サイドでの細かいボール回しから抜け出した#31宮本航汰が、#10ライザにボールを供給、それを綺麗に流し込んで先制点！後半には千葉の攻撃がさらに激しく…だけど、千葉が理想にこだわっていた部分にも助けられたような気がする。そもそも、スタメンに主力の#10町田や#50指宿がいない。千葉はプレーオフも降格も関係なくなってるから、おいおい“お試し”か！と。しかも風の噂では、千葉サポはホーム戦で勝利の後に居座りしたらしいんだけど、この日は選手ダンマクしか貼られていない。おいおい応援する気あるのか！と。そう思ってたのは僕だけなのでは…。一方ウチはJ2残留が懸かった一戦、選手もサポも気合いの入りが半端ないですから（苦笑）。その違いが、わずかなプレー精度の違いになってたんだと思う。我慢の時間が続いたけれど、後半28分、ポストプレーで#14風間宏矢にボールを預けた#10ライザが反転して抜け出し、撃ったシュートはGKの手を弾いて、ころころとゴールに転がり込む…その転がり込むボールを見つめる時間の、何と甘美なことか（笑）。えーと、その後の#14宏矢の負傷は、まあご愛嬌ということで（苦笑）。

試合終盤、岡山戦と同様にスタジアムに響き渡る地鳴りのような『FC岐阜』コールの中で集中を切らさずに守る岐阜の選手たち。そしてアディショナルタイムが残り1分を過ぎ、ボールが#25ビクトルに渡った瞬間、始まる『アイダ（勝利の凱歌）』…それを待ちわびていたであろう岐阜サポの歌声がスタジアム中から聞こえてきて、そして拍手が（アイスランド代表の）『バイキングクラップ』のように響き渡っていて、僕は単純に「うわ、すげえ…」と感動しました。この勝利で、いよいよJ2残留に王手をかけた岐阜。でも、まだ決まっちゃいない。だったら、自分たちの手で、ホームで決めるしかないよね。だから今節も全力で、そして勝利を！（ささたく）

●昨年と今季の計3試合で、双方が決めた得点の総数は19点。一試合平均が6点を超えるという、ノーガードの殴り合い上等な攻撃戦がまたしても…と思っていたら、あに凶らんや。まさかの2-0というロースコア、しかも完封。ホントにコレ、ウチと千葉が対戦してたの？とほったをつねってみたくもなる結果。開始当初は前節の松本を彷彿とさせるような攻められ方と思ったりもしたが、かといって松本ほどの迫力もしつつこさもなく、次第にしりすぼみになっていった辺りが千葉の現状を物語るといことなのかな？しかも、千葉の代名詞と思っていたハイライン、ハイプレスは見当たらず。前線の船山や茶島にはハラハラさせられたけど、徐々にウチのDF陣が対応できた感じ。エラそうなことを言える立場でないことは承知の上だが「千葉、どうした？」とツッコミたい気もする。なんか、調子の落ちてるウチを見てみたいだったよ（爆）。

しかし、完封勝ちとはね。水戸戦以来かな？コレまた、久々のアイダもよかった。あの熊谷での天皇杯以降、千葉戦でのアイダは何か琴線にふれるモノがあるね。

あと、触れようかどうしようか迷ったけど……クセにならないようにしてね？>コーヤ。コーヤのことも心配だったけど、試合の流れが変わらないか、ヒヤヒヤしてたことを告白します。週明けの様子だと特に問題はないみたい。でも、シーズンオフには肩の周りを鍛えて、来季からは競ってきた相手を肩で吹っ飛ばすくらいのカラダを作ってもらいたい。京都戦の試合後や週末のF M岐阜『Road to Dream』での受け答えからもわかるように、アツくて、替えの効かないウチの大事な選手。今季のラスト3試合でも見たいけど、無理はしないでほしいなあ。

とにかく、コレで残留に向けて大きく前進。最下位の心配はなくなった。そして、次節は山形戦。昨季の最終戦から今季の天皇杯を含めて3連敗。やられっぱなしじゃいけない。借りを返して自力で残留を勝ち取ろう！（ぐん）

11/2 時点の J 2 残留闘争。

	19位 / 京都	20位 / 岐阜	21位 / 讃岐	22位 / 熊本
40節	H愛媛	H山形	H栃木	A新潟
41節	H千葉	A水戸	A東京V	A福岡
42節	A讃岐	H福岡	H京都	H愛媛

11/2 時点の J 3 順位表。

1 琉球	60p +31	60	29	残り4	★J2 昇格権利あり
2 鹿児島	48p +8	41	33	残り4	★J2 昇格権利あり
3 群馬	47p +4	29	25	残り5	★J2 昇格権利あり
4 沼津	45p +10	34	24	残り5	
5 G阪U	43p +13	46	33	残り5	
6 鳥取	42p +11	52	41	残り5	★J2 昇格権利あり

鹿児島、沼津が勝ち点を積み増し損ね、J2自動昇格枠の2位争いが熾烈になってきました。なお、FC岐阜は今季J2で22位にはならないことが確定しているのので、J3の2位以内に「J2昇格権利なし」のチームが1つでも来ることが決まった時点でJ2残留決定となります。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。（編集人：吉田铸造）

毎年恒例、『岐大通』ホーム最終節特集の原稿募集！

●長いシーズンもようやく終わりです。そこで、『岐大通』恒例の「ベストゲーム」「ベストゴール」「MVP」、そして「今季の、そして来季のFC岐阜へ」原稿を募集します。表面に記載のメールアドレスへご投稿ください。なお、ご投稿の際にはペンネームを記載してくださいませよう、お願いいたします。（編集人：吉田铸造）